

事務事業評価表 平成22年度

政策 安全で快適な都市生活の充実
 施策 交通環境の充実
 基本事業 安全で快適な道路づくり

事業名 **道路橋梁管理経費 (経常)**

[3025]

部名	建設部	事業開始年度	- 年度	実施計画事業認定	非対象
課名	土木事務所	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	(誰、何に対して事業を行うのか) 市道
意図	(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 道路施設を常に良好な状態に保ち、道路の走行性及び安全性を確保し、道路の利用者が安心して通行できる道路を維持する。
	(事務事業の内容、やり方、手段) 道路の損傷箇所の修繕 復旧対応
	手段

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度当初
対象指標1	市道総延長	km	824	827	827	827
対象指標2						
活動指標1	市道管理延長	km	824	824	827	827
活動指標2						
成果指標1	道路維持管理上の不具合件数	件	513	512	585	500
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	121,068	129,165	135,870	125,197
正職員人件費 (B)		千円	10,886	10,865	10,787	10,826
総事業費 (A) + (B)		千円	131,954	140,030	146,657	136,023

費用内訳	
21年度	委託料 36,227千円、工事請負費 84,735千円、原材料費 14,909千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始
背景

事業を
取り巻く
環境変化

21年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業
妥当である
妥当性が低い

理由
・
根拠は？

道路管理者は、道路を常時良好な状態に保つように維持し、一般交通に支障を及ぼさないように努めなければならない。（道路法42条）

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい
貢献度ふつう
貢献度小さい
基礎的事務事業

理由
・
根拠は？

安全な交通確保に貢献する。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由は何ですか？

あがっている
どちらかといえばあがっている
あがらない

理由
・
根拠は？

工種によっては計画的に行っているが、緊急補修は計画的に実施できないため予算との兼ね合いもあり、危険回避の応急的な補修内容となっている。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大
成果向上余地 中
成果向上余地 小・なし

理由
・
根拠は？

道路パトロールの強化による延命的補修の実施。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある
ない

理由
・
根拠は？

これまで経費削減の工夫を積み重ねており、これ以上のコスト削減は難しい。